

1. 交付金事業の名称            徳島県環境・エネルギー教育支援事業
2. 交付金事業の事業主体      徳島県
3. 交付金事業の実施場所      徳島県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（城東高校、富岡西高校、脇町高校）

原子力発電モデル実験器、放射線測定器、放射線の特性実験セット等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。

- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（城東高校、脇町高校、徳島視覚支援学校）

大型太陽焦熱炉、再生エネルギー実験セット、手回し発電機等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・日本科学未来館、原子力科学館等の見学（城北高校、徳島視覚支援学校）

日本科学未来館、原子力科学館等を見学し、原子力・放射線や発電・エネルギーの学習に活用した。

(3) 講演会の実施

- ・原子力・放射線・発電・エネルギーについての講演会（城北高校）

有識者による講演会を実施し、原子力・放射線や発電・エネルギーの学習に活用した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費    6, 9 6 6, 5 4 6 円

交付金充当額        6, 9 6 6, 5 4 6 円

6. 交付金事業の成果及び評価

- ・当事業により原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、目標 8 5 % に対して 8 6 % であった。適切に実験器具・実験材料の整備事業や施設見学・講演会を実施したことで、教科書による学習だけでなく、体験に裏付けされた学びの実践により、原子力や放射線、発電・エネルギーの学習に関する興味・関心が高まり、より生徒の理解が促進された。
- ・原子力・エネルギーに関する協力のための環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、目標 8 0 % に対して 9 1 % であった。適切に実験器具・実験材料の整備事業や施設見学・講演会を実施したことで、ソフト・ハード両面での整備が進み、高い満足度につながった。